

ス テ ー ジ ア ッ プ

Stage Up

主な記事

- ・介護予防を地域に広げる
「一般社団法人カノンパートナーズ」
- ・インターネットで豊かなシニアライフを
「川崎シニアネット」
- ・特集 ワクワクがいっぱい！
子どもたちの夏！！

詳細・他

◆ 施設めぐり

- ・東海道かわさき宿交流館
歴史の学びと交流の場
- ・川崎市岡本太郎美術館
豊かな自然と
魅力的な芸術の融合

◆ 財団からのお知らせ

- ・社会人学級
- ・お楽しみコーナー
ほか



「Colorsかわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つひとつの作品と向き合い、ありのままの魅力を感じてもらうことを目指す展覧会です。

障がいのある人もない人も共に親しむことができる文化芸術活動の環境づくりを進める「パラアート推進事業」の一環として、(公財)川崎市文化財団が年1回開催しています。



たかはし しゅうへい
Colors かわさき 展より⑤ 高橋 周平「25歳の自分」 2022年 アクリル絵の具
25歳の節目として、ここまで育てて支えてきてくれた家族への感謝の思いを自画像にぶつけました。(本人)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp E-mail: stage-up@kpal.or.jp



介護予防を地域に広げる 「一般社団法人カノンパートナーズ」

▶リスム体操で免疫力向上



いつまでも若々しく、毎日ハツラツと過ごしたい。これは誰しも願うところです。専門家のもとで、無理なく安全に日常生活に必要な機能訓練を行い、いくつになっても尊厳を保って自分らしく過ごすことができる…。今住んでいる地域で、楽しみに通う習い事でそれが叶うとしたら、幸せだと思いませんか。

一般社団法人カノンパートナーズ(以下、「同法人」という)は、介護予防を地域に広げる活動をしています。姿勢改善、筋力・基礎体力のアップ、転倒予防、認知機能の維持・向上、日常生活の動作改善を目指した「健幸アップ体操」教室には、8会場で120~130人が参加しています。また、セミナーや出張教室、介護施設の職員を対象とした講演会などを積極的に実施し、年間受講者数は延べ3,000人にも達しています。

代表理事の今川貞治さんは、介護施設のセンター長を務めていた頃から、「要介護になる前に、デイサービスに来る前に、もっと何かできるはず」と考え、「体の機能が落ちていくのは仕方ない。急激に落ちないようにして生活の質を維持していくことができれば」と、体操教室を近隣住民に向けて開講し、もっと地域に広げたいこうと2020(令和2)年7月に同法人を立ち上げました。同法人主催の体操教室やセミナーの特徴は、看護師、リハビリケア上級専門士、健康運動指導士、介護予防運動指導員などの資格を持つ3人が、豊富な知識と経験に基づいた指導をしていることです。専門職の解説付きとする運動は納得感を伴い、1教室20人程度で指導陣の目が行き届く規模は満足度も高まるのでしよう。継続して参加している会員が多いようです。

専門職による効果的な指導

代表理事の今川貞治さんは、介護施設のセンター長を務めていた頃から、「要介護になる前に、デイサービスに来る前に、もっと何かできるはず」と考え、「体の機能が落ちていくのは仕方ない。急激に落ちないようにして生活の質を維持していくことができれば」と、体操教室を近隣住民に向けて開講し、もっと地域に広げたいこうと2020(令和2)年7月に同法人を立ち上げました。同法人主催の体操教室やセミナーの特徴は、看護師、リハビリケア上級専門士、健康運動指導士、介護予防運動指導員などの資格を持つ3人が、豊富な知識と経験に基づいた指導をしていることです。専門職の解説付きとする運動は納得感を伴い、1教室20人程度で指導陣の目が行き届く規模は満足度も高まるのでしよう。継続して参加している会員が多いようです。

いつも笑顔の指導陣。チームワークも抜群！



内田 美由紀さん
「専門職として、確実に効果があるものを、適切に提供します。2か月続けると体の変化を実感し、楽しさが増すようです」



今川 貞治さん
「施設で機能訓練をしていた経験から、どのように体の機能にアプローチしていけば効果が得られるかを大切にしています」



今川 みわさん
「ケガを防ぎ、楽しく身体を動かすことができるように、皆さんに目を配って細やかにフォローします」

楽しく笑って、体も脳も気持ちいい！

生涯学習プラザが会場となっている「健幸アップ体操」小杉①教室で体験しました。和やかな雰囲気の中、「この動作にはこの動きが必要だから」と一つずつ具体的な説明を聞き、自分の体と向き合います。フォローが必要な会員には指導者の一人がスッと近づき、「〇〇さん」と声をかけて、丁寧にアドバイスしていました。

法人化前の体操教室から続けている会員は、「手術後、訪問リハビリを受けていました。要支援ではなくなりサービスが受けられなくなりましたが、運動を続けたくて体操教室に参加しました。足腰がしっかりし、転倒予防になっています。ここでは仲間と一緒にできるし、同じくらいの年の方がいるから楽しいですよ」と話していました。



エンターティナーの一面も持つ指導陣は、巧みな話術と耳に心地よい声で、テンポよく進めていきます。間違えることを奨励する脳トレーニングでは笑い声が絶えません。はじめの挨拶から、体操中のやり取り、帰り際の言葉かけ、どの場面でも一人ひとりを大切にしていることが伝わり、温かい気持ちになりました。

▲「伸びているのが分かりますか？」

励ます脳トレーニングでは笑い声が絶えません。はじめの挨拶から、体操中のやり取り、帰り際の言葉かけ、どの場面でも一人ひとりを大切にしていることが伝わり、温かい気持ちになりました。

健康寿命延伸と介護予防のために

いつまでも元気に過ごすためには、日常生活にアプローチした効果のある運動を行うことが重要です。疲れやすくなった・足腰が弱くなった・ふらつく等と気になるところがいろいろ出てきた方、元気でハツラツとした生活を望んでいる方、「健幸アップ体操」はそんな皆さんに効果を発揮するプログラムとなっています。体力維持・向上と同時に、さまざまな身体の知識を得ることもでき、家族を介護する立場の方にもよさそうです。「お気軽に無料体験を！」とのことです。試してみたいはかがででしょうか。

「健幸アップ体操」開催中の教室

- ・小杉① (川崎市生涯学習プラザ) 月3回 水曜日 午前
- ・小杉② (フローレンスケア武蔵小杉) 第1・3金曜日 午後
- ・中原 (エボック中原) 月3回 木曜日 午前
- ・新城① (安養寺) 月4回 金曜日 午前
- ・新城② (いこいの家) 月2回 土曜日 午前
- ・高津 (小黒恵子童謡記念館) 第2・4木曜日 午後
- ・麻生 (鶴川・岡上分館) 第1・3木曜日 午後
- ・都筑 (横浜市・センター南) 第2・4水曜日 午後

詳細は下記の連絡先にお問い合わせください。



■一般社団法人カノンパートナーズ

電話 090-4707-6428

メールアドレス city.kanon@gmail.com

インターネットで豊かなシニアライフを「川崎シニアネット」

川崎シニアネット(略称「KSN」)は、一つのメーリングリストを全会員が共有して情報交換している川崎市を中心としたシニアのグループです。

インターネットの利用者が急増し、個人が情報を発信するようになった1999(平成11)年、シニアがインターネットを使って交流する場が必要と考えた初代会長の渡辺正信さんが一人で立ち上げました。個人でホームページを開いている人に声をかけて仲間を増やしていくところからスタートし、現在は112名の会員が在籍しています。

新しいコミュニティ

KSNの会則には、「IT(情報通信技術)を媒体として会員相互のコミュニケーションを通じてシニアの経験と知識の活用と情報を共有し、またオフ会活動などを通じて、会員がより充実した人生を送ることにより、地域社会の活性化に貢献すること」を目的とし、会員資格を「川崎市在住及び同市に関連ある原則50歳以上の個人で、この会の目的に賛同し、本人のEメールアドレスを取得している者」とありました。

この20余年の通信速度の向上、機械・技術の進歩はすさまじく、独学で追いかけるにはなかなか厳しいものがあります。KSNは、シニアが情報化時代に即応した生活が過ごせるように、パソコンやスマートフォンなどの使い方を会員相互に学びあう機会を設けています。メールだけではなく、スポーツや趣味などのグループ活動を通じて、直接会って懇親を深めることもできる新しいコミュニティです。



▲賀詞交歓会

年賀状形式の画像をHP上に公開。「画像をクリックすると拡大。更に、縦を広げて見やすくしたい場合は[F11]キーで全画面表示」と、さりげなくPC操作の技も掲載。意識せずとも知識が蓄えられていきます。



▲散策会

「小石川後樂園と植物園の紅葉を楽しむ」

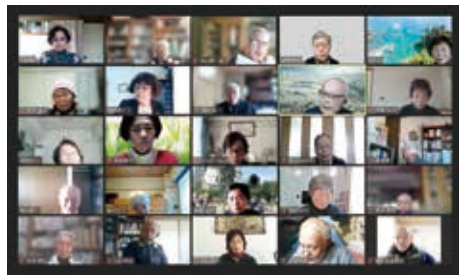


▲パソコン道場

会員のITスキルをアップデート

リアルとオンライン活動のハイブリッド

コロナ前は、講義形式のパソコン道場、マンツーマンで質問できるなっとくコーナーという学びの場や、



▲Zoomサロン(月1開催) 井戸端会議・情報交換

散策会、ボウリング、カラオケ、英語の会といった趣味の集まりなど、対面で行う活動が活発でした。新型コロナの感染状況が悪化する中、リアル活動は激減しましたが、元々オンラインで行っていた掲示板、文化祭、賀詞交歓会に、Zoomサロンを開始するなど、新たなオンラインでの活動が加わりました。ウィズコロナの現在は、感染対策をした上でリアル活動を再開。総会、講演会、パソコン道場など元々対面だったものを会場とオンラインの併用で開催したり、Zoom麻雀を始めるなど、リアル活動とオンライン活動の両輪で楽しむようになっていきます。活動計画は、年に1回開催される総会で、会員の提案・意見・同意を得て決めています。会員が思い立った時に「この指とまれ」とメーリングリストで参加者を募って開催する、指とまという不定期開催の活動もあるそうです。

体の元気なシニアと気持ちが元気なシニアが共に活動できる会

会長の鎌田幸雄さんと前会長で現幹事の飯島征彦さんは、ゆったりとした優しい笑顔で話します。「KSNは自分のペースで参加できるから気楽なんです。利害関係のない友人ができるので、それもいい。ただ、最近では定年後も働き続ける方が多く、入会の年齢も上がっちゃって、会員の高齢化がね」と、最後はちょっと苦笑い。

在籍者全員が諸活動に参加しているわけではないのですが、何かの事情で外出できなくても、メーリングリストで会員の皆さんの活動を知ること、一緒に参加している気持ちになったり、社会とのつながりを感じられたりします。KSNをよりどころとしている会員も多いのではないかなと思いました。

厳しい規則に縛られることなく、緩いつながりを特徴とし、個人の意思を尊重しているKSN。鎌田さんと飯島さんは、「気軽に参加できる場所なので、問い合わせのメールをお待ちしています!」と声を揃えました。見やすく、情報が探しやすいKSNのホームページをぜひご覧ください。

■川崎シニアネット

メールアドレス

ksn_office@kawasaki-snet.com

ホームページ

<https://kawasaki-snet.com>



特集 ワクワクがいっぱい!

(公財)川崎市生涯学習財団は、市民の皆さまのライフステージに応じた生涯学習活動を推進しています。今回は、生涯学習のはじめの段階にいる子どもたちを対象に実施している3つの事業をご紹介します。大人も子どもも胸躍る、太陽サンサンの夏!!待ち遠しいですね。

市内在住・在学 小学5年生～中学2年生 楽しく・仲良く・元気よく

人と自然と文化に出会える ふれあいサマーキャンプ

○ふれあいサマーキャンプとは?

夏休みの期間に、川崎市の子もたちが市の代表として友好市町村を訪れ、自然や文化、地域の人々とのふれあいを体験することができる、地域間交流を目的とした宿泊行事です。友好市町村の自治体や地域団体の全面的な協力を得て実施しているため、個人旅行ではなかなか味わうことができない貴重で豊かな体験ができます。

このキャンプは、川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館、(公財)川崎市生涯学習財団の共催です。主催者の職員や川崎市立学校の教職員などが子ども4人につき1人引率者として付くので安心して参加することができます。

○サマーキャンプはいつから始まったの?

1990年の岩手県東和町(現花巻市)でのサマーキャンプが始まりで、33年の歴史があります。これまで約5,600人の方が参加されました。

○令和5年度は4コースで実施予定

和歌山県古座川町(3泊4日) 7月25日(火)～28日(金)
島根県益田市(3泊4日) 7月31日(月)～8月3日(木)
岩手県花巻市(2泊3日) 8月2日(水)～4日(金)
長野県富士見町(2泊3日) 8月7日(月)～9日(水)

○どんな活動をするの?

どのコースも普段は体験できない活動が数多く用意されています。豊かな自然を実感できる体験やその土地に根付いた文化体験、地元の方や小中学生と仲良くなれるふれあい交流などがあります。また、川崎市の各地から参加者が集まってきます。最初は緊張するかもしれませんが、みんなすぐに仲良くなって一緒に楽しく活動に取り組みます。

- ◆和歌山県古座川町コース…ウナギ漁、カヌー体験、ジオパークに指定された一枚岩見学、思い出工作、熊野古道ウォークなど
- ◆島根県益田市コース…川遊び、海遊び、テント泊、野外炊飯、まき割りやたき火ができるキャンプ体験、石見神楽見学など
- ◆岩手県花巻市コース…宮沢賢治記念館見学、宮沢賢治童話村見学、古い布を裂いて織り込む裂き織体験、カヌーボート体験など
- ◆長野県富士見町コース…川俣溪谷ハイキング、野菜収穫、ナイトハイク、星座観察、バーベキューなど

【申込み期間】 令和5年5月12日(金)～26日(金)

ハガキやFAX、ホームページで申し込みます。定員を超えた場合は抽選で参加者が決まります。5月に学校で参加者募集案内となる「川崎こどもニュース」が配付されます。こどもニュースや川崎市生涯学習財団のホームページを見てお申し込みください。



古座川町 清流での川遊び



益田市 キャンプ体験でのテント設置



花巻市 湖でのカヌーボート体験



富士見町 溪谷ハイキング

子どもたちの夏！！

小学3年生～6年生 各教科や学習とつながる体験的活動

夏休み特別講座 たのしいキッズセミナー

日時 令和5年7月24日(月)～27日(木)
午前10時～12時、午後1時～3時

会場 川崎市生涯学習プラザ

講師 小中学校でご活躍し、「認定NPO法人教育活動総合サポートセンター」に登録された経験豊富な先生方

「たのしいキッズセミナー」って？

1. これまでに学校の学習や活動で培った力をベースにして、個々の興味や関心を広げたり深めたりする機会…
2. 国語・算数・理科・造形・音楽・パソコンの学習や活動を中心に、身体を動かしたりものにふれたりしながら、心を、思考力を、そして、指先をはたらかせる活動…
3. とても楽しく、取り組んだ学習や活動がますます好きになる講座…なんです！



小学5年生～中学2年生 世界にひとつだけの作品

マグカップづくりに挑戦！子ども陶芸教室

日時 令和5年7月1日・22日 土曜日
午前9時30分～12時

会場 川崎市生涯学習プラザ
地下1階実習室

1 キログラム(小さめのご飯茶碗 2 個分程度)の粘土を使い、当プラザ陶芸教室の受講生ボランティアの指導の下、自分だけのオリジナルマグカップづくりに挑戦します。マグカップづくりの余った粘土で箸置きや小皿などの小物を作ることもできます。

教室は粘土をこねて形を作る「形成作業」と、素焼きが済んだ作品に絵を付けて釉(うわぐすり)をかける「施釉作業」の2日間の工程で行われます。特に2日目の施釉作業は当プラザ陶芸教室ならではの工程で、通常の陶芸教室ではなかなか体験できない貴重なものです。

毎年、参加者の皆さんは、さまざま工夫を凝らして作品づくりを楽しんでいます。



力作が勢ぞろい！

無心に作陶

■問合せ (公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
〒211-0064 中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ
電話 044-733-6626 <https://www.kpal.or.jp>

お申し込み方法などの詳細についてはホームページでご確認ください。



川崎区

東海道かわさき宿交流館

JR 川崎駅から徒歩約 10 分
京急川崎駅から徒歩約 6 分

歴史の学びと交流の場



市役所通りから旧東海道に入り、石畳の歩道を六郷橋に向かって歩いていくと、東海道かわさき宿交流館(以下、「同館」という)があります。同館は、地域の方々の長年の活動を踏まえ、東海道川崎宿の歴史や文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流の拠点となることをめざして整備されました。開館したのは 2013(平成 25)年 10 月 1 日です。

楽しみながら「川崎宿」を学ぶ

まずは、入口にある大型映像「六さんの川崎宿今昔物語」を見ることをお勧めします。東海道五十三次、川崎宿や明治以降の発展について分かりやすく解説しています。茶屋「万年屋」を模してつくられたコーナーや休憩・交流スペースもあり、まち歩き途中で一息つきたい時に利用できます。

有名な東海道五十三次の浮世絵で彩られた階段を上って 2 階へ。床面の絵地図に沿って進み、両側の「ものがたり BOX」を楽しみ、壁面の「川崎宿解説」をじっくり読んで江戸時代の情報を収集。旅の道具や衣装、ジオラマの展示と、宿場気分が盛り上がっていきます。

同館で配布している「まち歩き用シート」は川崎宿解説の展示データをベースに作成。川崎宿の江戸時代の絵図と現代の航空写真を並べて表示し、史跡等の見どころ情報満載です。ぜひ手に取って、ご活用ください。

3 階では、江戸時代から現代へ、川崎の歴史や文化を大解剖。川崎をさまざまな角度から紹介する「川崎分解劇場」、川崎宿ゆかりの人物を紹介するパネル、いろいろな場所のいろいろな時代が覗ける「川崎発掘・いまむかし」が展示されています。自分の住んでいる場所が昔どうなっていたのか、気になりますよね。



▲1階 万年屋コーナー
万年屋は、東海道に行く旅人のほかに、川崎大師参詣に訪れた人々が立ち寄り大繁盛した茶屋。



▲2階 展示室
ものがたり BOX は透過映像と模型の不思議な世界。六郷の渡し、万年屋などで繰り広げられた物語を紹介します。



▲3階 川崎分解劇場
パネルを重ねて比較できます。街道と鉄道の関係、明治・大正から戦中・戦後に移り変わる様子、次は街道と多摩川を重ねてみよう等、興味が尽きません。

みんなが使える多目的空間も備えています

4 階は集会室です。第 1 集会室は 25 名、第 2 集会室は 30 名程度収容でき、会議や打ち合わせに利用できます。パーテーションを外せば 60 名程度、椅子のみなら 120 名まで収容可能です。集会室は舞台を備えているので、アマチュア落語家さんたちもよく利用されているそうです。

同館は、前座、二つ目の若手落語家・講師の皆さんや、アマチュアの皆さんの協力を得て、「お昼の落語」「東海道川崎宿寄席アマチュア名人会」「講談 de 交流」といった演芸の催し物を主催しています。毎回、定員の倍近くの申込みがあるそうです。固定ファンもついていて、大変な賑わいなのだとか。若手落語家のメッカになりつつある同館、ワクワクしますね。



▲多目的に利用される集会室

川崎宿は開かれて 400 年 東海道かわさき宿交流館は開館して 10 年

1601(慶長 6)年に徳川家康が東海道宿駅制度を整えてから 22 年後、品川宿-神奈川宿間が長く伝馬の負担が重かったこと、多摩川が氾濫すれば何日も川止めになることから、1623(元和 9)年に川崎宿が設置されました。今年には川崎宿起立 400 年。市内ではさまざまな関連イベントが開催されています。

開館 10 年を迎える同館は、総合的な学習の時間に小中学生が来館したり、まち歩きを楽しむ人々が休憩に立ち寄ったり、集会室では会議をしたり落語をしたり、「歴史・文化等の展示を行うとともに市民相互の交流を推進」という目的どおり、多くの人から愛される施設になっています。副館長の濱館幸二さんは、「歴史を生かし、宿場のイメージをもっと強化する雰囲気づくりをしていきたいと考えています。起立 400 年に向けて発信を強化し、使い勝手のよい施設にしていきたいです。いろいろな催し物も企画していますので、多くの皆さまのお越しをお待ちしています」と話していました。

◆運営ボランティア情報◆

「NPO 法人かわさき歴史ガイド協会」の会員が、ガイドボランティアとして館内を案内していただきます。

■東海道かわさき宿交流館

〒210-0001 川崎区本町 1-8-4
電話:044-280-7321



利用案内

展示室/休憩・交流スペース

開館時間 午前 9 時～午後 5 時
休館日 月曜(休日の場合は開館し
その直後の休日でない日)
12 月 29 日～1 月 3 日

入館料 無料

※詳しい予約方法・利用料金は同館ホームページをご覧ください。

集会室・談話室

開館時間 午前 9 時～午後 9 時
休館日 12 月 29 日～1 月 3 日
利用料 有料
ふれあいネットによる予約制

多摩区

川崎市岡本太郎美術館

小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口から 徒歩約 17 分

豊かな自然と魅力的な芸術の融合



▲《母の塔》
高さ 30 メートルのシンボルタワー。塔の正面は、高津区二子にある太郎の母岡本かの子文学碑《誇り》に向けて建てられています。

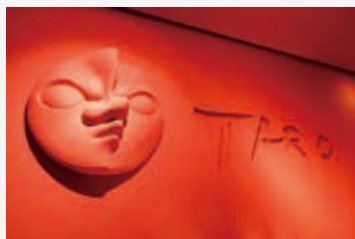
「芸術は爆発だ！」や、大阪万博《太陽の塔》で有名な岡本太郎(1911-1996)は川崎市の生まれ。川崎市岡本太郎美術館(以下、「同館」という)は、岡本太郎の活動の足跡をたどり、芸術性と思想を広く伝えるための美術館として誕生しました。

1999(平成 11)年に開館した同館のコンセプトは「自然と融合した美術館」。展示室などの施設が地下にあり、地上は《母の塔》を中心とする公園スペース、カフェテリアや太郎作品のある池など、自然豊かな生田緑地に市民の憩いの場が整備されています。

岡本太郎の作品を肌で感じる常設展

常設展示室のコンセプトは「体験型展示空間」です。展示室の順路は決まっておらず、迷路のような空間を歩きながら、絵画、彫刻、家具など、岡本太郎のさまざまな造形表現の世界に出会うことになります。室内に設置された太郎によるデザインの椅子に座ることができ、座り心地を体感。太郎デザインの椅子に腰かけてさまざまな太郎作品を見るといふ楽しみもあります。

常設展示室は年 4 回の展示替え。「太郎さんが多彩な人だったので、彼の作品はいろいろな捉え方ができます。一方向からだけでなく、多方向から作品の魅力を伝えていきたい」と学芸員の喜多春月さんが話すように、来るたびに新たな発見、違う楽しみが期待できます。主に太郎作品を展示する常設展示室は原則撮影可。動画や自撮り棒を使用しての撮影はご遠慮くださいとのことですが、写真に残せると、感動を振り返ることができますね。



▲常設展示室入口「赤の部屋」
開放的なエントランスから一変した空間にドキッ。ワクワク感が高まります。



▲立体作品のコーナー
正面から、後ろから、横から、いろいろな角度から鑑賞することができます。



▲椅子のコーナー
「坐ることを拒否する椅子」「手の椅子」「黙々っ子」「ひもの椅子」「ゆったり」



▲テーマ展示室
太郎さんについて知るコーナー。創作のエネルギーはどこから？

企画展は学芸員の汗の結晶

企画展は年 4 回開催されます。下記の企画展を担当した喜多さんは、「学芸員は雑芸員と言われるほど、何でもやらなければいけません。昨年 4 月からずっと準備に走り続け、手塩にかけた展覧会です。ぜひ皆さんにご覧いただきたいです」と、声に力を込めました。

「頭神(けんしん)の夢

—幻視の表現者—村山槐多、関根正二から現代まで」
会期：2023 年 4 月 29 日(土・祝)から 6 月 25 日(日)

この展覧会では、「お天道様」のように人知を超えた力を持つ存在からのインスピレーションを作品制作の原動力とする作家を紹介します。

会場では、村山槐多や関根正二などの日本美術を代表する画家から、新進気鋭の若手作家まで、世代を超えた約 50 名の作品が一堂に会します。美術史の文脈に沿うのではなく、「幻視」をキーワードに作家・作品を捉える試みを、ぜひお楽しみください。



▲関根正二《少年》
(1917 年) 個人蔵

お散歩と芸術鑑賞をセットで楽しんで

高校を卒業する頃からコロナ禍に振り回された大学 4 年生が、「コロナ禍に何度も訪れ、太郎さんに元気をもらいました」と話していました。太郎作品や太郎自身からあふれ出すパワーには、生田緑地の緑と同じようにセラピー効果があるのかもしれない。

広報担当の森近ちぐささんは、「生田緑地の四季折々の自然を満喫しながら、芸術も体感していただければ。気楽にお越しいただける美術館です。カフェでお茶もできますし、土・日・祝日には母の塔の下でキッチンカーを利用して、西口広場でピクニック気分を楽しむのもおすすめ」と話していました。

何回訪れても新しい驚きに出会える川崎市岡本太郎美術館。歩きやすい靴を履いて、春のお散歩&芸術鑑賞にお出かけしてみませんか。

■川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 多摩区柞形 7-1-5 生田緑地内
電話:044-900-9898

利用案内

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 月曜(祝日は除く)、祝日の翌日(土曜・日曜は除く)

年末年始、他に臨時休館日あり

観覧料 展覧会ごとに異なります。中学生以下は無料。

※詳細は同館ホームページでお確かめください。



仲間と協力、楽しく学ぶ 社会人学級



中学校の「国語」「数学」について、さまざまな事情により十分に学習できなかった人や、もう一度学び直したいと考えている人を対象とした学びの場、社会人学級をご存じですか。

授業は、毎週火曜日に国語、金曜日に数学を、午後6時30分から8時までの時間でそれぞれ年間30回行われます。受講料は無料で、資料代として各教科年間500円かかります。令和4年度の受講生は、国語18人、数学19人で、20代から80代の皆さんが和気あいあいと学んでいました。興味を持たれた方は、電話でお問合せ、または当財団ホームページでご確認ください。なお、本事業は市教育委員会から委託され実施しています。



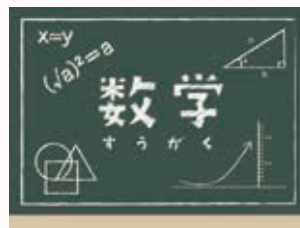
藤原 治子 先生



『テレビの前に座って一日を過ごすより
家を出て学びの場に集いましょう！』
社会人に国語の授業をという講座は他にはないと思います。ここで学んだからと言って何の資格も得られません。試験もありません。ここにあるのは“学びたい仲間、約束された時間、確保された空間”という「三つの間」です。年齢や人生も様々な方々の集いの場であり、何かのためではない純粋な学び合いの場です。



金野 昌暢 先生



「なるほど」「そういうことね」と思ってもらえるように、プロジェクターも使いながら説明しています。今まで数学に触れる機会があまり持てなかった人のための講座です。内容は、「基礎」が中心です。難易度に物足りなさを感じるかもしれませんが、基本的な解き方を学ぶことができます。ときどきパズルや切り紙など何かをつくって完成させることにも挑戦しています。

受講生コメント



「自分では出会うことのできない国語の分野に出会えて楽しかった」
「切り紙など毎回工夫し、熱心で分かりやすい数学の授業に感謝感激」

■問合せ

(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
住所 〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41
電話 044-733-6626 FAX 044-733-6697
ホームページ <https://www.kpal.or.jp>

広告募集！

「Stage Up」に広告を掲載しませんか？

発行：年4回発行 発行部数：各回7,500部
配布・配架先：市内の公共施設(市役所、区役所、市民館、図書館、スポーツセンター等)、市立学校、市内の商業施設、金融機関の市内の各支店 など

■問合せ

(公財)川崎市生涯学習財団
総務室「Stage Up」担当
電話 044-733-5811
メールアドレス stage-up@kpal.or.jp
ホームページで詳細をご確認ください ⇒



◆お楽しみコーナー ？

Stage Up 245号クイズに答えよう！

今年川崎宿起立400年、東海道〇〇〇〇宿交流館は開館10年を迎えます。

下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『東海道〇〇〇〇宿交流館』 ※ヒントp.6

【応募方法】



QRコードを読み取り、解答フォームへアクセス、または、①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所⑤今号の誌面でもかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2023年5月15日(月) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

メールアドレス stage-up@kpal.or.jp

電話 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆244号のクイズの答え・・・79, 1